

# 第19回 健康・医療戦略参与会合

2020年6月5日

一般社団法人 日本医療機器産業連合会  
(JFMDA)  
会長 松本謙一

## 本日は、次の2点について提言致します

➤ **医療機器の安定供給について**

➤ **人財育成について**

# 医療機器の安定供給について

## 緊急事態対応から浮き彫りとなった課題

- 機器や構成部材が輸入に大きく依存 例) 人工呼吸器：海外依存度9割以上
  - ✓ 2009年新型インフルエンザ流行時にも人工呼吸器の国産化について提言  
⇒ 高い海外依存度は現在も変わっていない
  - ✓ 医療機器、医薬品のトレーサビリティ、安定供給に対する体制整備が必要  
⇒ 第18回参与会合（2019年12月）でも提言
- 緊急事態による補助金だけでは事業継続が難しく、出口戦略としては不十分
  - ✓ 平常時から緊急事態向けの生産を継続的に行うための仕組みが必要

## これらをどのように解決していくか？

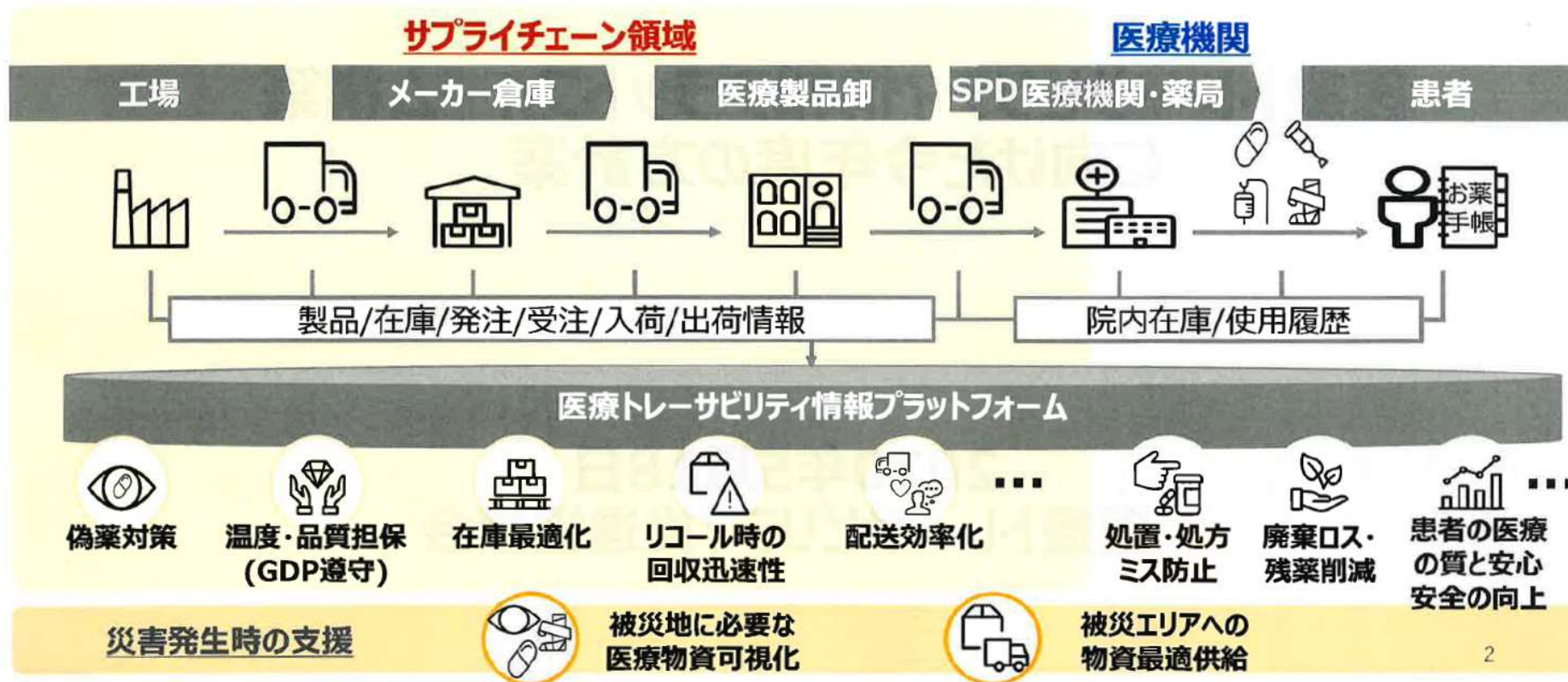
- 流通に関する情報の一元集約化
- 平常時から緊急事態時までシームレスに備える仕組み

# 流通に関する情報の一元集約化

## 医療トレーサビリティ情報プラットフォームのコンセプト

### プラットフォームによるサービス提供イメージ

医療資材の流通情報・使用状況を、川上から川下まで一気通貫で管理し、医療の効率化、患者の安心・安全確保に向けたサービスを提供する。



出典：医療トレーサビリティ推進協議会資料（2020年5月18日）

# 平常時から緊急事態時までシームレスに備える仕組み

## 医療機器について平常時から緊急事態時までシームレスに備える

- 備蓄品の定常的活用：備蓄向けに医療機器生産を行う一方、備蓄の一定数を定常的に海外の医療協力を活用することなどで平常時の生産を継続しつつ、緊急事態に備える仕組みを構築
- 備蓄に適した業界標準医療機器の開発推進の仕組み作りを官民で検討
- 緊急時に必要な医療機器は国内生産を前提としたサプライチェーンを確立  
また、緊急増産分を生産する企業等の体制も予め整備（規制対応も必要）
- 部材メーカーが医療機器用部材を積極的に供給できる体制の確保
- 単回使用医療機器（SUD）再製造品の活用を促進するとともに、単回使用構成品を含めて緊急事態時の対応についてもマニュアル化
- UDI、バーコード、RFID等の活用により、医療機器や個人防護具などの在庫状況をリアルタイムに把握
- 供給網では、ドローンや5Gの活用など社会インフラ整備も視野に入れて検討

## 医療機器産業界の取組み

- 医療機器のみらいを担う人財育成プロジェクト(みらプロ)の始動
  - ⇒ 産業界と行政の若手が集い、医療機器をとりまく課題に関して議論できる場を構築する
- 魅力発信部会の活動推進中（医機連と医療機器センターがコラボ）
  - ⇒ 医療機器産業への人財を獲得すべく、大学や学生に向けて医療機器産業の情報発信や就活イベントへの参画により、認知度向上を図る

## まとめ

### 医療機器を、平常時、緊急事態時問わず安定に供給するために

- 流通に関する情報の一元集約化
- 平常時から緊急事態時までシームレスに備える仕組み

### 医療機器産業を支える人財を獲得・育成するため

- みらプロや魅力発信部会を推進

これらを官民連携で推進し、

「Society5.0を支える医療機器産業」をめざします



医機連

一般社団法人 日本医療機器産業連合会

JFMDA

The Japan Federation of  
Medical Devices Associations



医機連

一般社団法人  
JFMDA

The Japan Federation of  
Medical Devices Associations